

小国高校

vol 171

2012.4

ジャーナル

小国高校ギャラリー in アスモ

「白い森子どもギャラリー」において、小国高校の活動を紹介するコーナーをアスモ店内に設置いたしました。（3月1日～9日）



「地域文化の歩み」と題したこのギャラリーでは、過去6年にわたり小国高校が取り組んだ地域文化を活動風景の写真や、活動を取り上げた記事とともに振り返りました。小国町を学習の場として高校生の視点からまとめた各年度のレポート集を始め、過去に作成された伝承歌の冊子や雑誌「Oguu」なども展示し、店内を訪れた方々に読んで頂くことができました。

第10回 聞き書き甲子園フォーラム

1年にわたり取り組んできた”聞き書き甲子園”の成果を発表するフォーラムが3月25日～26日に東京の「江戸東京博物館ホール」にて行われ、本校からは齋藤香穂（1年2組）が参加しました。

フォーラムでは、「聞き書き修了証書」授与式をはじめ、下記のプログラムが行われました。（所属クラスは3月末現在）

1日目（3月25日）

【聞き書き修了証書授与】

【高校生の聞き書き体験談】

【基調講演】

・聞き書きを通して高校生が得てきたもの 塩野米松氏（作家・聞き書き甲子園講師）

【「森の名手・名人」「海・川の名人」と高校生へのインタビュー】

【私たちが描く未来】 滝澤寿一氏（共存の森ネットワーク副理事長）

【グループごとの意見交換会「聞き書き体験のふりかえりと共有」】

2日目（3月26日）

【ゴミ処理場の見学】

・中央防護堤合同庁舎

【講義】

・アマモと東京湾の

自然再生について

木村尚氏（NPO法人海辺づくり研究会理事）

森田健二氏（NPO法人海辺づくり研究会理事）

【体験】

・アマモの植えつけ体験と

アマモの採づくり

※アマモ（海蘭）の減少は、海洋環境の悪化の結果であるとともに、その減少がさらなる環境悪化の大きな一因ともなり、漁業資源の減少にもつながる可能性が指摘されている。

このフォーラムに参加することで自然の大切さを再確認するだけでなく、全国の高校生の聞き書き仲間との交流を深めることができるなど貴重な体験となりました。



掲載許諾済